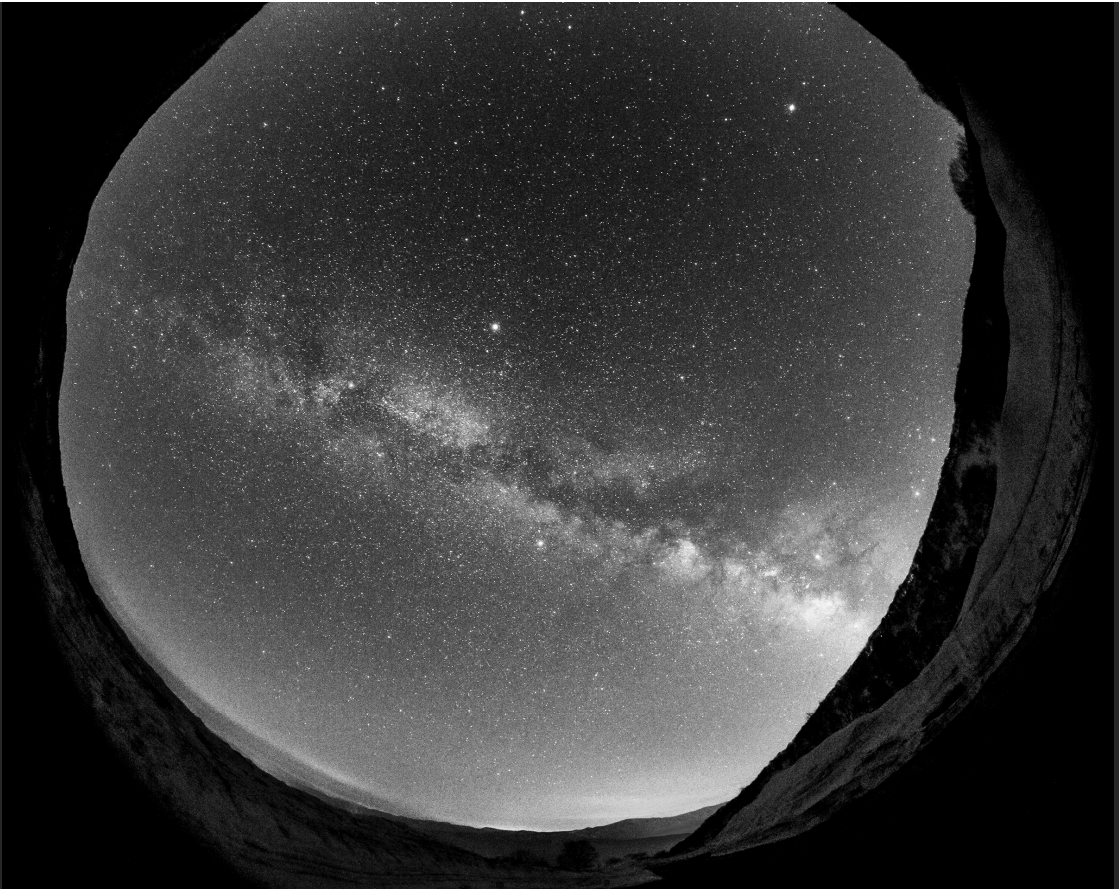


天文教育 5

2017

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



〈特別記事〉法人化準備委員会より

〈報告〉天文教育フォーラム報告／2017 ジュニア
セッション／Astro-HS 全国フォーラム 2017／
東アジア科学教育学会 2016 年大会

〈連載〉社会教育施設について考える (番外編／特別寄稿)
／宇宙を観じる生活を！

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**は1は原則として奇数月末日、2～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000・半ページ ¥12,000・1/4ページ ¥7,000・チラシの折り込み ¥20,000です。

※本誌に掲載された記事は、当会 Web サイト (<http://tenkyo.net/>) にて PDF ファイルの形で公開を予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合は、ご投稿の際にその旨ご連絡をお願いいたします。

なお、2014年9月号から、当会会員に対しては会誌発行後に速やかに、パスワード制限※をかけた形で閲覧できるようにし、発行から1年経過後にパスワード制限を解除して、広く一般に公開いたします。

※今号「事務局からのお知らせ」の末尾をご参照ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word 以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

天の川のアーチ

日時：2017年4月30日2時52分、撮影地：鍋倉高原（長野県飯山市）、撮影：大西浩次

春の宵の星空にアルクトゥールス、スピカ、レグルスと明るい星がいくつも見える。しかし、ほかの季節に比べて華やかさに欠いているように感じるのなぜだろうか。それは春の天の川が見えないからだろう。天の川は私たち銀河系を内部から見た姿である。この銀河面は、赤道面に対して約 63° と大きな傾斜角を持っている。さらに、銀河北極が「かみのけ座」にあるので、春の天の川のケンタウルス座やみなみじゅうじ座の方向が日本から見えないのだ。一

方、春の深夜には、南東から北東にかけて、銀河面が水平を取り巻くように横たわる。それが明け方になると、南西のさそり座・いて座から天頂のこと座・わし座、さらに北東のはくちょう座・カシオペア座に到る大きなアーチを描く様に見える。このアーチの最も広い部分に巨大ブラックホールが隠されている。いま、世界中のいくつもの電波望遠鏡で、この銀河系中心の巨大ブラックホール SgrA* の観測を行っている。この天の川を作る巨大なアーチは、夜明けの中に溶ける様に消えてゆく。天の川のアーチを見るのは春のあけぼのに限るだろう。

大西浩次